

ソーラー発電システム 自立運転への切り替え方法(京セラ製)

災害時に停電したときは

自立運転時の出力電流は日射などによりかわりますが、合計で最大15Aです。

連携運転から自立運転に切り替えて対応しましょう！



停電の時でも日照があれば…

パワーコンディショナを運転させ、発電した電力を自立運転出力(専用コンセント、自立運転出力端子台)に供給(AC100V、最大1500W[出力合計])します。ただし、日照条件により発電量が少ない場合は1500Wまで使用できないことがあります。

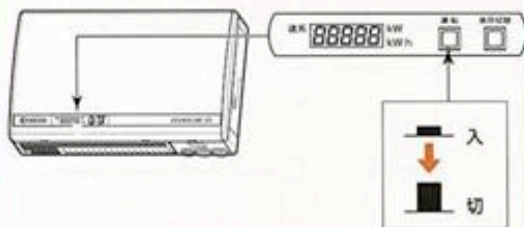
注意!

- 連携運転から自立運転に切り替えたとき、数秒～1分程度たった後に発電を開始します。その間、表示部は“—”を点滅表示し、自立運転待機中であることを示します。
- 出荷時パワーコンディショナは電源周波数 60Hz 設定となっています。50Hz で出力する場合は、一度 50Hz へ連携させると 50Hz 設定に切り替わります。
- 太陽の日射が弱いときに自立運転を行うと、電力供給の「オン/オフ」を繰り返すことがあります。故障ではありません。 ※ただし故障の原因となります。その際は使用をやめてください。

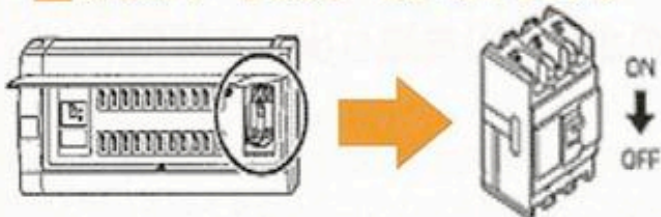
パワーコンディショナ



1 運転スイッチを「切」にする

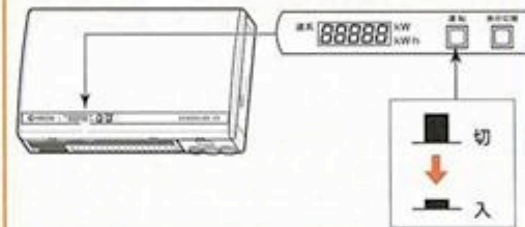


2 外部のサービスブレーカを「OFF」にする



※分電盤、サービスブレーカの形状が異なる場合があります。サービスブレーカが、分電盤の外に設置される場合は、必ず設置場所を施工業者にご確認ください。

3 運転スイッチを「入」にする



4 使用する電気製品を自立運転出力用コンセントに接続する



自立運転出力(パワーコンディショナ側面の専用コンセントおよび、自立運転出力端子台に接続された専用コンセント[別途設置工事を行った場合])に家庭内の電気製品の電源プラグを直接差しこんでください。

復電時の操作

1. 運転スイッチを「切」にする
2. 外部のサービスブレーカーを「ON」にする
3. 運転スイッチを「入」にする